

令和6年度第2回 感染症発生動向調査協議会
議事要旨

1 日 時 令和6年5月15日（水） 14：00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員：馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長）
加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 院長）
大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授）
大野 元（岐阜県産婦人科医会 理事）
石山 俊次（石山泌尿器科皮膚科）
オブザーバー：市原 拓（岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長）
事務局：八代 英彦（感染症対策推進課 感染症対策監）
酢谷 奈津（感染症対策推進課 感染症対策第二係長）
高柳 瑛余（感染症対策推進課 主任技師）
野池 真奈美（保健環境研究所 主任専門研究員）
岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題（進行：加藤委員）

- （1）前月の感染症発生動向について
- （2）検討すべき課題について
- （3）情報提供（月番委員専門分野から）
- （4）その他（感染症対策推進課から）

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況について

（事務局から）

- ・昨年秋ごろから同感染症の患者報告数が高い値で推移しており、また近日においては過去最高の患者報告数を記録したことから、流行の規模が今後拡大していく可能性も考えられます。

（委員から）

- ・同感染症の流行については、季節性の傾向がそれほど明確ではなかったように思います。そのため今後しばらく現状が継続する可能性も考えられます。
- ・患者報告数の増加については、流行が継続していることに伴う、検査実施率の増加による可能性も考えられます。
- ・引き続き日常での感染症対策と早期受診の啓発を行っていくことが重要と思います。